

(1)

$$\frac{1}{p} = \frac{1}{2 + \sqrt{5}} = \frac{-2 + \sqrt{5}}{-4 + 5} = -2 + \sqrt{5} \text{ であるから } a_n = (2 + \sqrt{5})^n + (2 - \sqrt{5})^n$$

$$a_1 = (2 + \sqrt{5}) + (2 - \sqrt{5}) = 4 \quad \dots\dots (\text{答}) \quad a_2 = (9 + 4\sqrt{5}) + (9 - 4\sqrt{5}) = 18 \quad \dots\dots (\text{答})$$

(2)

$$\begin{aligned} a_1 a_n &= \{(2 + \sqrt{5}) + (2 - \sqrt{5})\} \{(2 + \sqrt{5})^n + (2 - \sqrt{5})^n\} \\ &= (2 + \sqrt{5})^{n+1} + (2 - \sqrt{5})^{n+1} + (2 + \sqrt{5})(2 - \sqrt{5}) \{(2 + \sqrt{5})^{n-1} + (2 - \sqrt{5})^{n-1}\} = a_{n+1} - a_{n-1} \quad \dots\dots (\text{答}) \end{aligned}$$

(3)

(2) より、 $n \geq 2$  において  $a_1 a_n = 4a_n = a_{n+1} - a_{n-1}$  であるから  $\therefore a_{n+2} = 4a_{n+1} + a_n \quad (n \geq 1)$  ——①

(1) より、 $a_1, a_2$  は自然数であるから、①より、以下帰納的に、 $a_3, a_4, a_5, \dots$  も自然数であることがわかる。したがって、すべての  $n$  について、 $a_n$  は自然数である。(証明終)

(4)

$a_2 = 18 = 2 \times 3^2$  と  $a_1 = 4 = 2^2$  の最大公約数は、2 である。 $a_3 = 76 = 2^2 \times 19$  と  $a_2$  の最大公約数は、2 である。すべての  $n$  について、 $a_{n+1}$  と  $a_n$  の最大公約数は、2 であると予想されるので、数学的帰納法により示す。 $n = 1, 2$  のとき成立。

$n = k$  のとき、 $a_{k+1}$  と  $a_k$  の最大公約数が 2 であると仮定し、 $a_{k+1} = 2b_{k+1}$ ,  $a_k = 2b_k$  とおく。

ここで、 $b_{k+1}, b_k$  は、互いに素な自然数である。

$a_{k+2} = 4a_{k+1} + a_k = 2(4b_{k+1} + b_k)$  であり、 $4b_{k+1} + b_k$  と  $b_{k+1}$  の最大公約数を調べる。

$$4b_{k+1} + b_k = pk, \quad b_{k+1} = qk \text{ とおくと } 4qk + b_k = pk \quad b_k = (p - 4q)k$$

これより、 $k$  は  $b_{k+1}, b_k$  の公約数であるが、 $b_{k+1}, b_k$  は互いに素であるから、 $k = 1$  しかあり得ない。

$4b_{k+1} + b_k$  と  $b_{k+1}$  の最大公約数は 1 であり、 $4b_{k+1} + b_k$  と  $b_{k+1}$  は互いに素であることが示された。

したがって、 $a_{k+2}$  と  $a_{k+1}$  の最大公約数は 2 であり、 $n = k + 1$  でも成立。

以上により、 $a_{n+1}$  と  $a_n$  の最大公約数は 2  $\dots\dots (\text{答})$